

2024(令和6)年 3月 7日(木)

於：JR松江駅 北・南口広場

くにびきエコクラブ

「東日本大震災発災」を契機に活動をはじめた 「もったいない運動」について

13年前の東日本大震災直後の非常時には、全国に節電や被災地への食糧支援などが呼びかけられ、その危機感を契機に人々の間に大量生産・大量消費社会に対する反省と、循環型社会への移行議論が高まりました。しかし、年月とともに震災の記憶は薄れ、そうした機運も当時の勢いを失っています。

当クラブでは毎年この時期に“もったいない運動”を行うことで、人々に「いまだ完全復興とはいえない東日本大震災の被災地」のこと、「令和6年能登半島地震」のこゝを思い起こしてもらい、「もったいないの心」で、限りある資源を大切に、被災地の復興と脱炭素社会(カーボンニュートラル)へ向けた輪が大きく広がることを願っています。